

令和2年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症 対策支援プロジェクト研究報告書

企画題目	実学教育の新しい在り方の模索と提示
研究者所属・氏名	研究代表者：財満信宏 共同研究者：森山達哉、久後裕菜、川本宏和

1. 研究、開発・改良、提案目的・内容

実学教育には、「異分野の理解と交流」が重要である。これには、同じ問題意識を共有する時間を作ることが重要である。直接に会話する機会が制限される状況でこれを達成するために効果的なのが、仮想空間に研究室を作ることであると考えた。この研究室に、学生、企業人、大学教員が参画することにより、遠隔地にいながら、問題意識の共有とその解決策の模索のための時間を共有することを目指した。

2. 研究、開発・改良、提案経過及び成果

以下を実行した

2020年8月 HP 公開 (学際生命科学研究室)



2020年8月 食品機能学オンラインプレゼンコンペ開催

食品機能学(3回生配当科目)授業として、学外から審査委員を招き、オンラインプレゼンコンペを開催。審査委員は幸南食糧株式会社社長・川西氏、大木製薬株式会社広報部長・山下氏、日本食糧新聞社記者・佐藤氏など、食品分野の第一線で活躍されている方々にプレゼン審査を通じて学生を直接指導していただいた。この授業は日本食糧新聞に掲載された。

2020年8月下旬 仮想研究室および仮想研究室インスタ運営開始

※学生には、高校生・研究室分属前の大学生・研究者以外の方々とのサイエンスコミュニケーションを意識し、研究の価値をどう伝えるかの課題を与えた。

2020年10月 オンラインインタビュー掲載

2020年11月 オンラインインタビュー掲載

2021年12月 共同研究の紹介ページを公開

3. 本研究と関連した今後の研究、開発・改良、提案計画

研究室を知った高校生に、大学の研究に関する講演会を依頼され、企画中。来年度、オンラインで講演会を開催する予定。

共同研究先の大木製薬株式会社とは新製品を企画中。守秘義務もある中、学生の取り組みを可視化できる方法を考える必要がある。

4. 研究成果の発表等

発表機関名	種類(著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)

5. 開発・改良、提案課題の成果発表等

ホームページ公開

<https://www.nara.kindai.ac.jp/laboratory/gakusai-seimei/index.html>